

HTB とジャパンケーブルキャストが共同で開発

自治体情報配信システムをむかわ町が導入

HTB 北海道テレビとジャパンケーブルキャスト株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長 CEO 藤原洋、以下 JCC）が共同で開発を行う、次世代データ放送サービス、Hybridcast*を活用した自治体情報配信システムをこの度、むかわ町が導入することになりました。

2018年に発生した北海道胆振東部地震で大きな被害を受けたむかわ町では、緊急時の確実な情報伝達はもとより、日常の地域情報配信を重要課題として、2021年から町内全域でJCCが提供する地域・防災情報配信アプリ、「JC-Smart」を、山間部の同町穂別地区では同アプリに加えて、IP告知端末の運用を開始しています。今回、同町ではHTBとJCCが提供するHybridcastを活用した自治体情報配信システムを導入することを決めたものです**。本システムの導入により、住民宅のテレビ放送画面から情報配信を行うことができ、IP告知端末を設置していない地域や、スマートフォンを保有していない高齢者に向けて、広く地域情報の発信が可能になります。

住民はHTBのデータ放送から「むかわ町からのお知らせ」メニューを選択することで、自治体からのお知らせをテレビで見ることができ、Hybridcast対応テレビで視聴している場合は、さらに詳細な地域の情報に加えてピンポイント天気予報、定点カメラなどの防災情報を確認することができます。本システムの導入にあたっては、現在運用中の「JC-Smart」システムと連携することで、自治体の導入費用や運用コストを抑えながら、胆振管内最大の面積を持つむかわ町における、地域による情報格差（デジタルデバイド）の解消を図ります。

HTBとJCCは、これからも地上波テレビを通じて地域情報や安心安全に関する情報の配信を行うことで、自治体が抱える防災・地域情報発信の課題解決に貢献するとともに、住民に寄り添った地域DXおよび自治体DXに向けて取り組んでまいります。

*Hybridcast（ハイブリッドキャスト）はNHKが開発し、IPTVフォーラムが規格化したスマートテレビやスマートフォンの機能を活かした放送通信連携サービス

**本システムの本運用開始は2023年4月を予定

